

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS



2001・7/31(火) ▶ 10/8 (月・祝)

企画展

堂本印象名作選Ⅱ

休館日：毎週月曜日（ただし休日の場合はその翌日が休館、9月25日休館）
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料：一般500(400)円・高大生400(320)円・小中生200(160)円
（ ）内は、20名以上の団体料金
特別行事：大文字・夜間特別開館 8月16日（木）午後9時まで
3Fサロンから大文字送り火を鑑賞（入館料のみ必要）
列品解説 8月5日（日）午後2時から当館学芸員による作品解説（入館料のみ必要）

京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3
TEL.075-463-0007
<http://www2.ocn.ne.jp/~domoto>



或る家族 (1949年)

企画展

堂本印象名作選 II

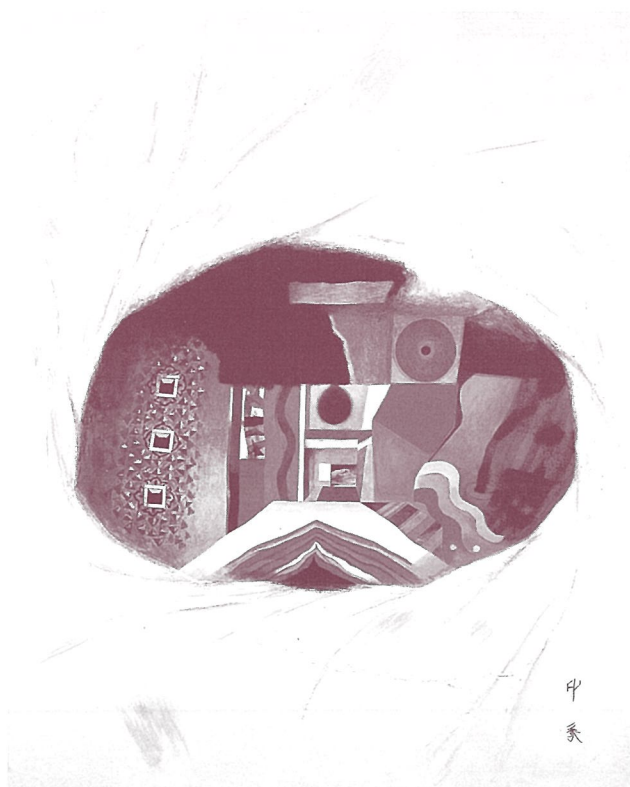
2001・7/31(火)▶10/8(月・祝)

休館日：毎週月曜日(ただし休日の場合は、その翌日が休館。9月25日休館)
 開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 特別行事：大文字・夜間特別開館 8月16日(木) 午後9時まで
 3Fサロンから大文字送り火を鑑賞(入館料のみ必要)
 列品解説 8月5日(日) 午後2時から
 当館学芸員による作品解説(入館料のみ必要)

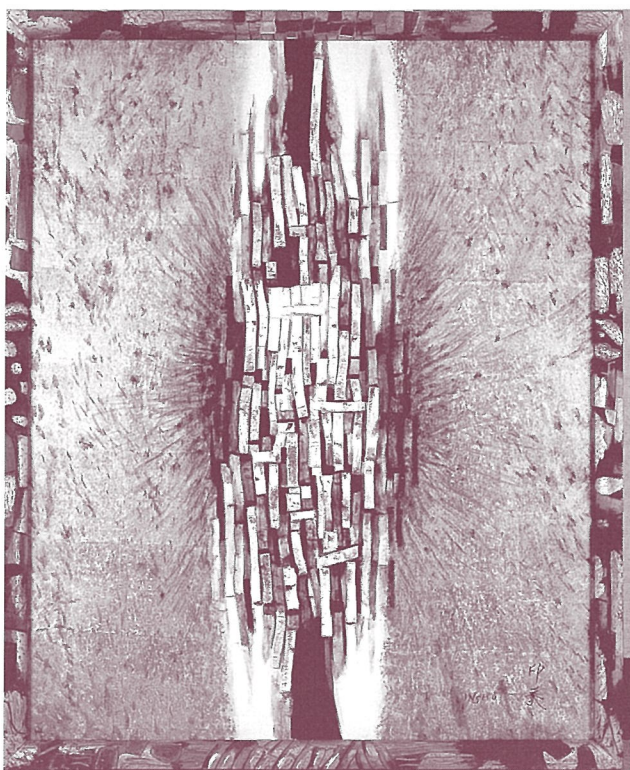
当館ではこの春から、堂本印象の全貌を紹介するため、画業を大きく四つの時期に分け、各時期の代表作をご覧いただく展覧会を開催しております。本展ではその前半にあたる第一部(第1期=デビューから昭和初期まで・第2期=敗戦までの昭和前期)に続く第二部として、戦後から晩年までの作品を展覧します。

印象芸術の第3期は戦後の約十年間で、それまでは専ら古典的なものに目を向け、多くを吸収してきた印象が一転して現代を凝視し始めた時期です。当時の風俗や昭和27年のヨーロッパ旅行の成果を題材にし、近代西洋画的な表現—形状のデフォルメや色面を中心にした表現—により、従来の日本画的な要素を排除し、新たに日本画の可能性を問う姿勢を見せています。そして第四期は昭和30年代に始まった抽象表現への移行です。これは印象の表現上の変貌の中でも最も世間を驚愕させるものとなり、否定的な意見も聞かれました。しかし、「過去の美の重圧を押し分け、対決し、新しい美を創作しなければならない…」という不退転の決意のもと、自らの作品を「新造形」と称し、次々と新境地の作品を発表し続けたのです。

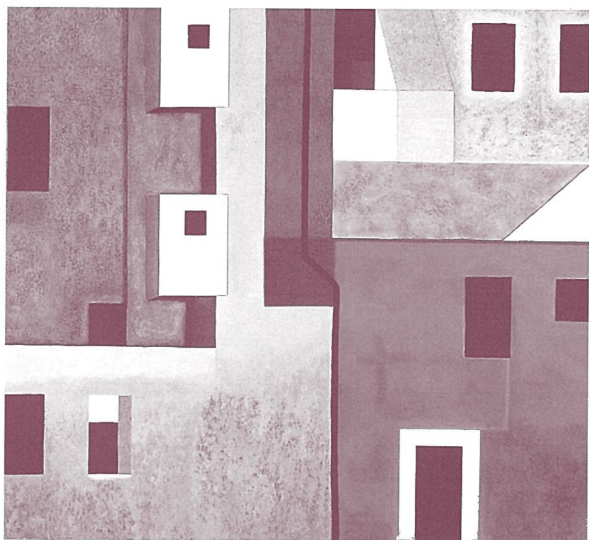
日本の歴史の中でも最も社会が激動した時代ともいえる戦後を経て、ますます華麗に発展し続けた印象芸術の昇華を御鑑賞下さい。



執着の離脱 (1967年)



回帰 (1963年)



生活 (1955年)

京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前
 〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007
<http://www2.ocn.ne.jp/~domoto>

開館時間：午前9時30分～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

入館料：一般500(400)円
 高大生400(320)円
 小中生200(160)円
 ()内は、20名以上の団体料金

●交通機関

JR京都駅より市バス9、JRバス(立命館大学前経由)阪急電車烏丸駅より市バス125号、京阪電車三条駅より市バス1215号、JR円町駅より市バス5にて、いずれも「立命館大学前」下車。

